

母が子に寄りそうということ

NPO法人さやま保育サポートの会
代表 諏訪きぬ

市民大学パパママお助け隊養成学科に、念願の講師西村信子さんをお招きすることが出来ました。5月23日のことです。「膝のお皿を割ってしまって、やっとなつば杖がとれたの」と元気な姿を見せてくれました。高熱に冒されてテンカン症となった長女奈緒ちゃん。つまづきのあるわが子のために「お金を貯めましょう」と内職をはじめた仲良し5人組の母親たちは、養護学校卒業と共に行き場の無くなった子どもたちのために、作業所“びぐれっと”を立ち上げます。その後、やがては親元を離れて暮らすことこそ「その子のしあわせ」とグループホームを作ります。わが子に寄せる想いから出発したこの取り組みは、いまや160余人のスタッフを抱える社会福祉法人びぐれっとに育ち、10のグループホームを運営するまでになっています。「奈緒の育ちに合わせて必要なものをお母さん達と力を合わせて作りだしてきたけど、自分のことは何もやってこなかったみたい」という西村さんの言葉が印象的でした。

奥富に美しい水田の風景がもどってきました!

今、奥富の田んぼは一面、水がはられ、早苗田が生まれ、かる鴨が泳いでいます…。

アツという間に若葉は青葉に変わり、プレイス奥富には、卒所していった子ども達のあとに、新しい命を授かった親子さん達が来てくれて、また落ち着いた中にもにぎやかさを取り戻してきています。今月は新規に登録された方も多く、新しい仲間が増えました。“手をつなぐ”人達が増えていくってくれることはうれしい事です。新しい方も、“アラ〜ッ?”と思う程、すぐに周りの皆さんに馴染んでくれています。

だから、お食事の時は自己紹介。新しくお出でになった皆さんをすぐ周りの方々にスタッフをご紹介しますよ!だから2回目には、もうお友だち ♡「こんにちは!」のごあいさつが出来ればもうOK!みんなおともだちだよ!♡新しい出会いを求めて、またお子さんのお友達さがしにいらっしやいませんか!?



何が出来るかな? リサイクルクラフト (廃材遊び)



新聞紙を割いて…花びらが降ってきました。

4月に初めてやってみたりサイクルクラフト。大好評で「楽しかった」とリクエスト相次ぎ、ついに奥富の定番。「子どもがいるのを忘れて夢中になっちゃったア。」「これいいねェ!?!」「親が夢中でやっている子どもも側で一心にやっているからいいよね!」の声に、気をよくし、当初5月にもやってみました。6



作品 “ボーリング”

月も予定しちゃいます!! お子さんの集中する姿はいじらしいほど。親子で“廃材遊び”を楽しんで下さいね。



宝物箱(廃材入れ)



何が出来るかな?



親の方が夢中! (?)

小さな子どもと薬の付き合い方

はじめてのお薬講座。入曾“すこやかクリニック”前のりぼん薬局の薬剤師、岡本さんにおいでいただき、①シロップの飲ませ方 ②吐き出した時の対応 ③粉薬の飲ませ方、飲まない時の対応 ④余った薬はどうするの? ⑤受診の前に薬を飲ませていいの? ⑥タミフルはどうなっ



た…? などなど、たくさんのみなさんの??? にパワーポイントで説明していただきました。後半はおひとり、おひとり挙手して質問された方々に共通の問題としてとらえてお答えいただきました。講師の先生、皆さんとも真剣勝負のような緊張感が漂い、話し合い、聞き終わった時、さわやかな充実感に満ちた空気が流れていました。

